

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.147

出光と昭和シェル 合併は急進展か？

□ 創業家弁護士が辞任

前回のメルマガNo. 146で、出光+昭和シエルの経営統合に関するNHKの報道に言及しましたが、セミナーの翌日(2/10)に出光創業家の浜田卓二郎弁護士が辞任したという報道がありました。その報道と同時に、「出光創業家のホームページ」も閉鎖され、閲覧できなくなっています。

- ・合併交渉に再び暗雲
- ・経営陣と創業家の協議が進展して合併が実現するのか

といった正反対の報道が相次いでいます。

私の直感では、合併は急進展するのではと考えてます。

TOCOM 5/8 開設予定 石油スワップ市場の決済指標

□ 決済指標は？

石油価格指標に関して、元売りがどの価格指標を採用するかが、皆様方一番興味があるところだと思います。

元売の採用より先にTOCOMの石油スワップ市場の決済指標が決まります。

理想は「TOCOMの決済指標=元売りの採用する指標」です。

玉は、元売りから仕入れながら、TOCOMでヘッジ(リスク回避)が可能になります。

□ 2/9セミナーでのTOCOMのコメント

- 採用する指標はPRA原則に準拠していること
- 新規商品ではなく、商品の追加なので、法律上は2ヶ月前までに決めなければならないという制約はないが、3月中には決めたい。

□ PRA原則に準拠とは

現状では、PRA原則に準拠しているのは[Platts]と[RIM]の2社のみです。

もう一社は、米国等でPRAを取得している手法とは異なる手法での評価だと思しますので、新規にPRA原則に準拠していることを日本の監査法人が保証する必要があり、3月中の石油スワップ市場の決済指標の決定までは間に合わないと思います。現在、石油価格指標会社=PRAと勘違いしている方が多数存在していますが、明らかな「間違い」です。

石油価格指標会社が公表する石油価格指標の中で、PRA原則に準拠した指標を「PRA指標」と私は定義しています。

□ TOCOMへのお願い

セミナー当日のパネルディスカッション等で、以下の2点の改善をTOCOMにお願いしました。

【1】 TOCOMウィンドウの成約 = 確実な決済の履行となること

現状ではTOCOMのクリアリング機能を使用せずに相対で受渡・決済が可能になっており、決済の確認も行われないことから

⇒ そもそも決済を行わないことを前提とした「架空」の成約が可能であること

⇒ 決済の履行を誰も保証しないので、お金を払ったけれども物が来ない/お金が貰えない等のトラブルの可能性が高い

この点の早急な改善をお願いしました。

遅くとも4月からTOCOM独自のシステムに移行する予定なので、その時点までには改善されていると思います。

【2】 飛び越えての成約を不可能にすること

現状では、買いが「売りの最安値」、売りは「買いの最高値」での成約が保証されてませんので「公正市場ではない」と考えてます。意図的な高値の成約、安値の成約が可能になり、成約価格の信頼性が劣ります。

TOCOMウィンドウでガソリン等の購入したい方は「TOCOMのクリアリングで引渡しを受ける」ことをお勧めします。

2/9 セミナー収録CDセット 残り7部

- セミナー参加者は異口同音に「今回の資料は今までで一番多い」と言ってます。何せ、最長の5時間半でしたから。翌日から確定申告業務に邁進していて、資料を増刷したくないので、今回は残り7部で打ち切りたいと思います。ホームページから直接(または申込みFAXフォームダウンロードで)お申し込みいただけます。

2月9日セミナー収録CDのお申し込みは

中澤公認会計士事務所

検索